令和6年 八潮市農業委員会7月総会 議事録

- 1 開催日 令和6年7月25日(木)
- 2 開催時間 午後2時00分から
- 3 会場 市役所会議室3-4

- 4 出席委員 14名
会長 1番 小早川喜一
会長職務代理者 2番 鈴木 新一
委員 3番 大塚 一宏 9番 田中 幸夫
4番 齋藤 富子 10番 松田 淳一
5番 福岡 達則 12番 石井 清巳
6番 飯山 敏行 13番 関根 幸子
7番 新井 孝美 14番 荻野 透
8番 鈴木 隆 15番 白倉 明久
(11番 欠員)

- 5 欠席委員 なし

- 6 議事日程
第1 会長挨拶
第2 議事録署名人の選任
第3 書記任命
第4 議 事
議案第9号 相続税の納税猶予に関する適格者証明の件
第5 協議事項
八潮市農林金融協議会役員の推薦について

- 7 転用等届出受理報告
報告第1号 農地法第4条第1項第7号の規定による転用届出の件
報告第2号 農地法第5条第1項第6号の規定による転用届出の件

- 8 その他

9 農業委員会事務局職員

局長 瀧沢 昭仁

係長 平野 麗子

主任 五十嵐陽子

開会 午後 2時00分

◎開会の宣告

○事務局長 皆さん、こんにちは。おそろいになりましたので、ただいまより八潮市農業委員会7月総会を開会いたします。

定足数につきましては、農業委員会等に関する法律第27条第3項に、「総会は、現に在任する委員の過半数が出席しなければ、開くことができない」とあります。在任委員は14名ですので、8名以上の委員の出席が必要となります。

本日の出席者は14名で欠席はございませんので、定足数に達しており、本日の農業委員会は成立していることをご報告させていただきます。

それでは、開会に先立ちまして、小早川会長よりご挨拶をお願いいたします。

◎会長挨拶

○会長 皆様、改めまして、こんにちは。

このところ、午前中から高温になりまして暑い中を7月総会にご出席をいただきまして、ありがとうございます。

ご覧になった方もいらっしゃると思いますけれども、7月9日のお昼のNHKの番組に八潮の枝豆が紹介されておりまして、ここに出席しております福岡委員の圃場、ハウスなどの絵がありました。あれは何、直まきですか。女性のアナウンサーも、一緒に何か収穫していらっしゃる。八潮の枝豆もPRになったと思います。

また、7月13日はふれあい農産物直売所のほうで枝豆まつりが行われまして、暑い中でございましたけれども、枝豆を買い求める人でにぎわったということでございます。

それから、明日、あさつとあるんですが、7月19日、そして20日、26日、27日、それから8月2日、3日と駅前公園のほうで夜空のマルシェ、これが開催されるそうでございます。

それから、8月23日には夜市も行われる予定で、夏本番というところでございますが、先ほど、NHKのニュースを見ていましたら、山形、秋田で線状降水帯が発生して、山形には大雨特別警報が発令されていて、大変な危機を迎えているようでございますので、大した被害がないことを祈りたいと思います。

それでは、今月も幾つか案件がございますので、慎重なるご審議をお願いしまして、開会の挨拶とさせていただきます。

○事務局長 ありがとうございます。

本日の傍聴者につきましては出席の方がおりません。ご報告申し上げます。

それでは、ここで、資料の確認をさせていただきます。

不足、乱丁等がある場合には、恐れ入りますが、手を挙げてお知らせ願います。

① 八潮市農業委員会 7月総会次第	A 4 横
② 八潮市農林金融協議会委員の推薦について（依頼）	（資料 - 1）
③ （参考）審議会等委員一覧	（資料 - 2）
④ 農業経営のみなさんへ	（資料 - 3）
⑤ 生産緑地の買取り申出に伴う取得のあっせんについて（依頼）	（資料 - 4）
⑥ 令和6年度農地利用最適化活動活性化研修会の開催について	（資料 - 5）
⑦ 地域農業を守ろう（中川周辺地区地域計画説明資料）	（資料 - 6）
⑧ 農作物の盗難防止について（通知）	（資料 - 7）
⑨ 農業委員会活動記録簿（7～8月分）	（資料番号なし）

資料は以上で9点になります。資料の漏れ等はないでしょうか。よろしいですか。

それでは、次第に基づいて議事に入りたいと思います。

議事の進行につきましては、八潮市農業委員会総会会議規則第4条の規定に、「会長は、総会の議長となり議事を整理する」とうたわれてございますので、小早川会長に議事の進行をよろしくお願いいたします。

次第3の議事録署名人の選任から次第8のその他まで、よろしくお願いいたします。

◎議事録署名人の選任

○議長 それでは、次第に基づきまして進めてまいりたいと思います。

次第3の議事録署名人の選任でございますが、こちらからご指名してよろしいでしょうか。

—— 委員より「はい」の声あり ——

○議長 ありがとうございます。

それでは、7番、新井孝美委員、10番、松田淳一委員にお願いをいたします。

◎書記任命

○議長 次に、次第4の書記任命でございますが、瀧沢事務局長にお願いをいたします。

○事務局長 はい。

◎議案第9号の上程及び提案理由の説明、質疑、採決

○議長 それでは、次第5、議事に入りたいと思います。

議案第9号 相続税の納税猶予に関する適格者証明の件について、事務局より説明をお願いします。

○事務局 次第に移りまして、1ページをご覧ください。

議案第9号 相続税の納税猶予に関する適格者証明願いについてです。

番号1、相続人住所・氏名、八潮市〇〇〇番地〇、〇〇〇、被相続人住所・氏名、住所は同じく〇〇〇番地〇、〇〇〇、特例の適用を受けようとする土地の所在、〇〇〇から〇、登記地目は畑、現況地目も畑、面積計〇〇〇平米、都市計画区域は市街化区域内です。こちらは、〇〇〇生産緑地となっております。被相続人の農地台帳記載の農地面積合計は〇〇〇平米です。申請人はカスミやイオンなど、スーパーに出荷しています。

次に、場所の説明をします。隣、2ページをご覧ください。

市役所〇側の出入口を出まして、〇に向かいます。直進しまして、〇〇〇で〇折し、500メートルほどのところに〇〇〇で〇折をしまして、220メートルほどのところに〇〇〇で〇〇〇、こちらを〇折いたします。280メートルほど進んだところで、〇〇〇で〇に入って70メートルほど進んだ〇側が図面に着色したところで、今回の申請地でございます。

現地の様子は、1枚めくっていただいて、3ページの写真となります。

以上でございます。

○議長 ありがとうございます。

それでは、同議案につきまして、地区担当、13番、関根幸子委員より、現地調査の結果並びに補足説明がございましたら、お願いをいたします。

○13番（関根幸子委員） 今回、相続税の納税猶予に関する適格者の証明について調査に伺ってまいりました。

長年にわたり野菜の耕作を続けており、現在、畑にもたくさんの夏野菜が作られておりました。畑の状態はよく整っており、今後も〇さんと耕作を続けていきたいというお話をされておりました。

調査の結果、問題はないと思われまます。

以上です。

○議長 ありがとうございます。

ただいま事務局と13番、関根幸子委員より、相続税の納税猶予に関する適格者証明の件につきまして説明がございましたが、何かご質問、ご意見等がございましたら、挙手にて、自分の座席番号、氏名を述べてから発言をお願いいたします。ございませんか。

—— 委員より意見なし ——

○議長 ないようでしたら、挙手にて採決をしたいと思えます。議案第9号につきまして、原案のとおり賛成の方の挙手をお願いいたします。

—— 挙手全員 ——

○議長 挙手全員でございます。本案は原案のとおり可決いたします。

◎協議事項

○議長 次に、次第6、協議事項 八潮市農林金融協議会役員の推薦について、事務局より説明をお願いします。

○事務局 資料の1をご覧ください。

八潮市農林金融協議会役員の推薦について、都市農業課より依頼がございました。

〇〇〇委員の補充という形ではございますが、委員候補者の〇〇様が今、当協議会の会長となられておりますので、改めて委員の皆様の中から選任をお願いするものです。

こちらの農林金融協議会につきまして、2番の会議等がございますとおり、総会と会議、それぞれありますが、総会につきましては、平成30年以降、書面会議となっております。また、会議につきましては、農業者さんから近代化施設の融資の関係で申込みがあった際に、その都度開催するものとなっております、直近の開催が平成30年のものとなっております。そちらのほうで選任をお願いいたします。

○議長 八潮市農林金融協議会というのは、JAさいかつの地区代表理事の〇〇会長、ですから、必然的に〇〇さんが会長になります。〇〇〇さんの逝去に伴って、それを、その後釜を推薦しなきゃいけないわけですけども、今、事務局のほうから説明がございましたように、それほどしょっちゅう会議があるわけじゃありません。その案件が上がってきたときに、審議するような状態でございます。

○6番（飯山敏行委員）農業近代化資金の申込みがあったときぐらいですか。

○議長 前は私が会長のときに、〇〇〇の案件で行いました。それほど、だから、しょっちゅうあるわけじゃありませんので、どなたか、じゃ、やってもいいよという委員がいたら、お願いしたいんですけども。もし、やってみようという方がいたら、手を挙げていただきたいんですが。福岡委員。

○5番（福岡達則委員） 5番、福岡です。

○○さんの代わりということですよ。

○議長 そうです。

○5番（福岡達則委員） ということは、今、これを見ると、私と○○さんで理事になっていますけれども。

○議長 当てはめていって、理事だからどうのこうのじゃないんですね。仮に○○さんが代わりに入ったとしても、やっぱり会長ですから、なれない。

○3番（大塚一宏委員） 違うんですよ。○○さんの代わりに、次の農業委員の候補が○○さんになっているから○○さんも入れて、会長ですけれども、○○さんじゃ駄目なんですか。兼ねちゃ駄目なんですか。農業委員の代表として○○さんが会長だけれども、農業委員から。

○事務局 すみません。ご質問いただいた件ですが、おっしゃるとおり、○○委員の補充として、既に農業委員会委員となる見込みのある方を当てはめるということが、しっくりくると思いますが、今回については、会長職にある方が委員となる見込みのある方なので、単純に役職だけの当てはめだけではありませんので、審議をする際にそれぞれの委員さんの立場からそれぞれのご意見をいただく関係もありますので、重複することはできないというふうに担当からは聞いております。

○議長 そういうことでございます。

私のほうから推薦、提案していいですか。○○委員、いかがですか。○○さんには、学校ファームをやってもらっているんですけども、学校ファーム推進協議会のほう、学校ファームも年に1回程度の開催なので、負担は少ないと思います。○○さん、やっていただけますか。

今説明したように、これ、しょっちゅう、年1回あるわけでもないです。その案件が上がってきたときにある。あとは書類で。

○6番（飯山敏行委員） もしあれだったら、私、やりますよ。

○議長 飯山さん、やっていただけるとのことなんで、飯山委員。

ただいま飯山委員が手を挙げていただきましたので、じゃ、飯山委員にお願いをいたします。よろしくお願いをいたします。

◎転用等届出受理報告

○議長 次に、次第7、転用等届出受理報告につきまして、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局 それでは、次第の4ページをご覧ください。

まず、報告第1号 農地法第4条第1項第7号の規定による転用届出の件につきましては、記載のとおり、作業所1件の届出を受理いたしました。

次に、5ページをご覧ください。

6ページ、7ページにつきましてでございます。報告第2号 農地法第5条第1項第6号の規定による転用届出につきましては、記載のとおり、住宅敷地5件、共同住宅2件、倉庫・事務所敷地1件、運送会社営業所駐車場敷地2件の合計10件の届出を受理いたしました。

なお、6ページ、7ページでございます番号9番、10番につきましては、関連がございまして、番号9は〇〇の〇〇〇及び〇〇〇の筆は〇〇〇さん、〇〇〇さん、〇〇〇さんがそれぞれの持ち分で、〇〇の〇〇の筆は、〇〇〇さん、〇〇〇さん、〇〇〇さん、〇〇〇さんの4人が4分の1ずつ持ち分になりまして、こちらが合わせて3筆を運送会社営業所駐車場の転用目的で〇〇〇に売買するもので、この番号10番は、番号9番で譲受人となった〇〇〇から新たな譲受人の〇〇〇へ同日付で届出がなされているというものです。

代理人によりますと、このような届出は司法書士の指導によるものであり、届出書に添付の土地売買契約書の写しにこちらについて明記されているものです。

以上です。

○議長 ありがとうございます。

それでは、この後、数分間、届出の内容をご確認いただく時間を設けますので、その後、質問がございましたらお願いをいたします。4ページから7ページとなりますので、ご確認をお願いします。

———— 資料確認 ————

○議長 そろそろよろしいでしょうか。

転用等届出受理報告について、何かご質問ございましたら、挙手にて自分の議席番号、氏名を述べてからご発言をお願いします。

ございませんか。

———— 委員より意見なし ————

○議長 なければ、転用等届出受理報告は終わりいたします。

◎その他

○議長 次に、次第8、その他にまいります。

その他につきましては、報告事項1件、依頼事項が2件、協議事項が1件ございます。

初めに、報告事項、令和6年度農業経営及び農地利用状況に関する調査について、事務局より説明をお願いします。

○事務局 それでは、報告事項になります。

資料の3、農業経営及び農地利用状況に関する調査、例年、8・1調査というものですが、こちらについて説明させていただきます。

最初に、ピンクの紙をご覧ください。

農業経営の皆さんへお願いということで、調査の趣旨や送付物についての説明と、8月21日水曜日までに提出をお願いしますという案内がなされております。

次に、A3の用紙を折ったものが記入要領となりますので、ご覧ください。

調査票の内容、去年と変わっておりませんが、表面の右上にある情報の公表の同意につきまして、昨年度までは氏名を記載していただいておりますが、今年度から丸づけをしていただくように変更になっています。

調査票につきましては、去年の内容がそれぞれ皆さんの情報が記載されておりますので、まず、内容を見ていただいて、間違っているところや変更がある場合は見え消しで消して、訂正をしていただくこと。訂正あるかどうかの確認と、あとは表面右側の右半分、特に下のほうです。今後の意向とかを見て、丸をつけていただく。

あと、裏面になりますが、現在の利用状況ですが、耕作している、管理している、その土地の今後の農地としての利用、誰かに貸したいとか、売りたいとか、そういったところに丸をつけていただきたいと思います。

例年と同じですので、もし、農業者の方から相談された場合は、このような感じで答えていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

次に、一緒に同封するチラシにつきましては、まず、黄色い紙が毎年入れております近代化施設導入事業、裏面の包装資材購入事業の案内となっております。

次に、緑色の紙ですが、農業者年金のチラシです。こちらは、農業者年金の基金から送られてきたものになります。

次のピンクの紙が、相続登記が今年の4月1日から義務化されましたというお知らせのチラシになります。

次に、青の紙が、SS安全作業のためにというチラシです。スピードスプレーヤのものですが、農作業の安全作業という意味では共通する内容となっておりますので、同封させていただきます。

次の黄色い紙が収入保険や共済のチラシになります。昨今の異常気象などで災害が大きな被害になるかも分かりませんので、ぜひ加入しましょうという内容のチラシが4枚つづりになっております。

最後に、こちらも毎年入れているものですが、特定健康診査・健康診査及びがん検診等のご案内というチラシで、担当課のほうから依頼がありましたので、入れております。

このほか、添付はしておりませんが、返信用の封筒と個人のデータが入力された調査票が封入されます。

この調査は8月1日現在の状況を調査するもので、今月末に発送予定です。

提出期限が過ぎまして8月下旬ぐらいになりましたら、提出されていない方には2回目の郵送を、今年の未提出の方には郵送しようと思っております。それでも未提出の場合は、委員の皆様には大変申し訳ございませんが、担当地区の方を回っていただくことをお願いしようと思っておりますので、その際はよろしくお願いたします。

以上です。

○議長 ありがとうございます。

ただいまの説明につきまして、何かご質問がありましたら、お願をいたします。

飯山委員。

○6番（飯山敏行委員） 6番、飯山です。

この農地台帳なんですけれども、皆さん書き込むと思うんですけれども、ちょっと面倒くさいという方が中にはいるんですけれども、これというのは基本的に台帳を書くことによって農家として行政さんのほうから、あなたは、要するに通信簿みたいなものですよね。通信簿というか、自分から申告して、私はこういうような農業経営をしていますということで、それをベースにしているんな許可申請云々かんぬんに関して、これからは引っ張っていますよね。

○事務局 はい。

○6番（飯山敏行委員） だから、面倒くさがらずに提出したほうが絶対いいですよ。

○事務局 はい。義務ですので、よろしくお願します。

○6番（飯山敏行委員） 非常に面倒くさいという方がいるんで。

○事務局 相続して、自分がどういう農地を管理しているかとか、そういうのも分からないという方もいらっしゃる。農業をやっていないから、こんなの書けない。

○6番（飯山敏行委員） そう、それを言われるんです。

でも、私はいつも農地を持っているんだから、ちゃんと行政に、こういうのを来たら、ちゃんと書いて出さないと、何か転用届だって、何かするときに。

○事務局 ご本人が大変な思いをする。

○6番（飯山敏行委員） 問題は起きるからとはいつも言っているんですけれども、そういう解釈でよろしいですか。

○事務局 言っていたら。

○6番（飯山敏行委員） ありがとうございます。

○議長 よろしいですか。ほかにございますか。3番、大塚委員。

○3番（大塚一宏委員） 私に、ちょっと勘違いした人がいて、言われたんですが、後ろのあっせん希望とか、売りたいとかと丸をつけているのに、何の情報もその後、もらっていないとかと言う人がいたんですけれども、これはそうじゃないですよ。単なるじゃなくて、そういうふうに思っているから、事務局のほうに売りたいとか、借りたいとかいう人が来た場合に、これを見て、どうですかという情報を与えるということではない。

○事務局 これに丸をつけたからと、すぐこちらで橋渡しができるというわけではない。

○3番（大塚一宏委員） そうですよ。

その辺をもし言われたら、そういうふうに答えたほうがいい。

それと、ちょっとこっちは8・1調査のほうじゃないんですが、農業近代化のほうで、新設のビニールハウスの条件として、事業費が100万円以上と面積100平米以上、これは両方満たさないと駄目なんでしたか。片方だけじゃ駄目なんでしたか。

○事務局 両方満たす必要があります。

○3番（大塚一宏委員） 分かりました。

○議長 ほかにございますか。よろしいですか。

——— 委員より意見なし ———

○議長 それでは、次に、依頼事項、生産緑地の買取り申出に伴う取得のあっせんについて、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局 ご説明させていただきます。資料4をご覧ください。

申出地の概要としましては、生産緑地2か所です。

1つ目は、八潮〇〇〇号生産緑地です。土地の所在は〇〇〇番〇〇〇の3筆です。面積は〇〇〇平米と、八潮〇〇〇号生産緑地、所在地が〇〇〇番〇から〇の〇筆で、面積は〇〇平米の合計〇〇〇平米の生産緑地となります。

そちらの買取り希望価格は、1枚めくっていただいたご覧の金額でございまして、平米当たりに換算しますと、〇万〇〇〇円、坪当たり約〇〇万〇〇〇円と〇万〇〇〇円、坪当たり約〇〇万〇〇〇円となっております。

参考までに、近隣の地価調査価格でございしますが、こちらですと、八潮〇が〇〇〇で平米当たり〇万〇〇〇円、坪当たり約〇万〇〇〇円、また、県調査の八潮〇が〇〇〇で平米当たり〇万円、坪当たり約〇万〇〇〇円となっております。

下に添付書類と書いてありますが、その下の（3）の公図はつけておりませんが、代わりに最後のページに、5月の総会でご説明をいたしました地図をつけております。〇〇〇の西側と東側となっております。こちら、5月の総会、議案第6号で主たる従事者証明をした場

所となります。

その後、買取り申出の希望が市にまいて、市の各部署に買取り申出の照会もしましたが、どこも希望がなかったことから、今回、農業委員会に依頼が来たものとなります。

以上でございます。

これらの土地について、もし、ご担当の地区で買取り希望ございましたら、事務局宛て、次の総会までにご連絡いただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

以上です。

○議長 ありがとうございます。

ただいまの説明につきまして、何かご質問はありますか。

12番、石井委員。

○12番（石井清巳委員） 12番、石井です。

これ、希望〇〇万、〇〇万近い、何でこんな金額が出てくるのでしょうか。

○事務局 ご回答いたします。

こちらにつきまして、あくまで買取りの希望価格でございますので、近隣の地価公示を参考につけているのは、そういったような意味合いでございます。

○12番（石井清巳委員） だって、下のを見ると、〇万とか、〇万とね。

○事務局 買ってほしいという。

○12番（石井清巳委員） 希望で。

希望といっても、これだけ桁が違うのを受け付けていいんですかね。

○事務局 受け付けても大丈夫かどうかの基準があるかどうか。

○12番（石井清巳委員） 自己申請だということだね。

○事務局 はい。

○議長 3番、大塚委員。

○3番（大塚一宏委員） 以前にもやっぱり石井委員のような質問が10年くらい前にやっぱり出たんですよ。あまりにも場違いというか、かけ離れた金額なので、もう少し考えろというふうに言ったんですが、また、こういう状態、少し前から何かなっているような感じがする。

この参考の場所とこの申請の場所が大分何か離れているらしいんだけど。

○事務局 近隣の地価公示につきましても、地価公示を行う場所が八潮市内でも限られておりまして、その中でもまだ近いほうということで、こちら、示させていただいておりますので、ご指摘のようなことが生じてしまいました。

○3番（大塚一宏委員） だから、受付のときの、公園みどり課のほうに、もう少し金額を考えろみたいなふうに、前は言ってもらったんだと思った。

だから、こういう意見が出たということをお公園みどり課に伝えてもらえれば、それでいい

んじゃないですか。

○議長 こういう意見がありましたということで、お伝えいただければ、ほかにございますか。

—— 委員より意見なし ——

○議長 それでは、ないようですので、もし、皆さんの担当地区で取得を希望される方がいらっしやいましたら、事務局のほうまでご報告をお願いいたします。

次に、協議事項、令和6年度農地利用最適化活動活性化研修会の開催について、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局 令和6年度農地利用最適化活動活性化研修についてご説明いたします。

この研修につきましては、農業委員、農地利用最適化推進委員、農業委員会事務局職員等を対象に開催される研修でございます。

今回の研修の内容といたしましては、現時点では予定ではございますが、一般社団法人全国農業会議所農地・組織対策部長、〇〇氏による「農業委員会組織をめぐる情勢について」の講演、阿見町、前橋市農業委員会における農地利用最適化活動の取組についての事例報告、埼玉県農地中間管理事業の推進についての情報提供となります。

出席者につきましては、車の都合により、5人出席をしていただき、例年、昼食につきましては、慶弔費から出費をさせていただいております。

なお、参考ではございますが、昨年の出席につきましては、鈴木新一会長職務代理、鈴木隆委員、田中委員、松田委員の4人が出席でございます。

説明は以上でございます。

○議長 ありがとうございます。

毎年の研修でございますが、これは新任の方に毎回お願いをしているんでございますけれども、もし、参加してもいいよという方がいらっしやいましたら、お願いしたいんですけれども。

車の、さっき局長が申しましたように、車の同乗、最大5人でございます。日にちは9月11日、11時過ぎ。途中で昼食を取っていただいて、羽生ですから結構。

○8番（鈴木 隆委員） 結構遠いですね。

車は誰が運転していくんですか。去年は清水さんが運転してくれたんですけども。

○事務局 そうですね。私が行けばいいんですけども、ちょっと議会中ですので、その日程によって、これから決めさせていただきます。

○6番（飯山敏行委員） 担当は1人行く。

○事務局 そうですね。職員は1人は必ず行きます。

○6番（飯山敏行委員） 1人ですよ。2人は要らない。1人ですよ。

新人の方に入ってもらったほうがいいんじゃない。

○議長 一応、臼倉委員と関根委員と荻野委員、あと石井委員、あともう一人。4人でいい。

○議長 では、今お願いをした臼倉委員と関根委員と荻野委員と石井委員にお願いをいたします。9月11日でございます。また、詳しい日時、時間等は、改めてお願いをいたします。

参加をお願いした皆様には、お忙しいところ恐縮でございますが、よろしくをお願いいたします。

次に、依頼事項2件目、中川周辺地区における地域計画につきましては、本日、担当の都市農業課の臼倉係長と北條さんに来ていただいておりますので、説明をお願いしたいと思います。よろしくお願ひいたします。

○都市農業課 都市農業課の臼倉と北條と申します。本日はよろしくお願ひいたします。

今年度策定する地域計画について、今日は説明させていただきます。

地域計画策定においては、農業委員会の皆さんのお力、非常に重要になりますので、ぜひともご協力いただきますようよろしくお願ひいたします。

では、すみません、着座にて失礼させていただきます。

お手元の資料6番です。地域計画のホチキス止め1つ、こちらの資料をご覧くださいませうでしょうか。

まず、地域計画とはというところでご説明させていただきます。

こちらは、農林水産省が作成したパンフレットになるんですけども、左下のほうに地域計画とはと書いてございますので、これはもう全て説明しているような内容になりますが、ちょっと読ませていただきます。

地域計画とは、農業者や地域の皆さんの話合いでつくる将来の農地利用の姿を明確化した地域農業の設計図です。まさにこれになります。

右に移っていただいて、作成主体は市町村となっておりますので、作成主体は八潮市になります。対象範囲は、今会長からもお話ありましたけれども、中川周辺地区になります。将来の農地利用と書いてありますけれども、将来というのは、こちら10年後になります。地域農業の設計図とありますけれども、設計図は農地の目標の地図のことを指します。具体的には、この設計図を令和7年3月、来年の3月末までに策定して、公告するというような流れになっております。

次に、具体的な流れをご説明させていただきますので、一つ、ページをめくっていただけますでしょうか。

地域計画の流れなんですけれども、まず、①のところです。意向確認調査、いわゆるアンケートです。今回、中川周辺地区となりますので、実は関係になっている方、既にアンケート届いていらっしゃる、回答をいただいている方もいらっしゃると思うので、もう内容はご

存じの方もいらっしゃるかと思うんですけれども、現状、アンケートをお出しして、回収が終わっているという段階ではあります。

続けて、2番、協議の場です。これは後ほど、ご説明させていただくんですけれども、来月、こちらの協議の場を開催予定になります。協議の場を開いて、かつ、この農業委員会でも話し合いを持たせていただいて、将来目標地図のほうを作成するというような流れのイメージ。

その下のところです。市町村が地域計画を作成。ちょっと色が変わってしまっていて、見づらくはありますが、写真なんですけど、こういうような地図をつくると。10年後の将来目標地図をつくるというような今のイメージでよろしく願いいたします。

次のページです。

3番の地域計画の完成、これが令和7年3月末までに、この将来目標地図を含めた調書等を策定して公告するというような形で、まず一つのゴールになっています。

次、4番なんですけれども、これを完成で終わりではなくて、基本的にはその地域の計画は、あくまでも10年後の姿になりますので、今後も何か変化がありましたら、ブラッシュアップだったり、変更を加えていくということになりますので、何か変化があった場合は都度、地域で話し合いを持って、修正していくというような形をとりますので、今後よろしく願いいたします。

ただ、今、まず目指すべきは、来年の3月末までの10年後の将来目標地図の作成という形になります。

次に、中川周辺地区のご説明を簡単にさせていただきます。

次のページのほう、開いていただけますでしょうか。

中川周辺地区の地図です。こちらは、皆さんご存じかと思うのですが、エリアとしましては、二丁目、木曾根、南川崎、大瀬と伊勢野も入っております。こちらが農地約30ヘクタールです。

今回地域計画策定するに当たって、県のほうには、中川周辺地区という名前で提出しておりますので、皆さんいろんな呼び方あるかと思うんですけれども、中川周辺地区という地区名になりますので、ご理解のほう、よろしく願いいたします。

こちらの地区、いわゆる地権者と耕作者がいらっしゃると思うんですけれども、地区内対象者ということで、次のページ開いていただけますでしょうか。

こちらが、今回ピックアップさせていただいた、勝手にお名前使わせていただいて恐縮なんですけど、今回、地域計画の特に核となる方になります。

上から、まず、農業委員会の方です。会長をはじめとする、特に地区の、農業委員会の担当地区の方です。続けて、地区内の認定農業者になります。最後に、地区内の農家組合長に

なります。先ほどお話ししましたけれども、協議の場の開催が8月28日の水曜日、18時からで、ちょっと突然で恐縮なんですけれども、地域計画の農業者協議の開催を予定しておりますので、該当する委員におかれましては、ぜひご参加、ご協力のほう、よろしく願いいたします。通知のほうは後ほど、個別には出しますけれども、よろしく願いいたします。

それプラス、既にお出ししているアンケートの中に、地域計画に参加しますかという質問がありまして、一部参加したいという方もいただいていますので、その方にもお呼びする予定です。また、ホームページで周知しまして、この地域計画の協議に参加したいという方は皆様参加していただくというような形を予定しております。

8月28日、まず、こちらはかなりの人数が集まると思いますので、まずは全体的な話をさせていただいて、ただ、今後の流れなんですけれども、8月以降は農業委員会の中の会議でも、将来目標地図の話合いを進めていただくことになり、個人情報も扱いますので、この会議に認定農業者一覧ですとか、個人の耕作者の情報ですとかと全て出すわけにはいかないので、今後、農業委員会の方々のお力も必要となりますので、よろしく願いいたします。

具体的に、農業委員会は何やるのというところなんですけど、こちらの次のページを開いていただけますでしょうか。

横になるんですけれども、関係機関の役割例というところで、左側、県から市町村、そして農業委員会の役割というのは書いてございます。特に大事になってくるのが、真ん中から下のところ、四角のほうが地域計画の策定というところなんですけれども、ここにあります目標地図の素案を求めに応じて作成ということで、いわゆる地図の作成です。地域計画において、やはり将来目標地図をつくるというのが肝になってきますので、こちらの特に農業委員会が重要な役目がございます。

具体的に、では、将来目標地図作成は何かということなんですけど、それが次のページになります。

将来目標地図の作成手順とあるんですけれども、下の絵のところ、ちょっと白黒で恐縮なんですけど、これは農地の耕作者の色分けをされています。今誰がやっているのというものの現況地図というものなんですけれども、それを10年後、どういう形で、集約していくということが効率化になるわけなので、右の図のように理想的にはならないかと思うんですけれども、10年後の耕作者を皆さんで話合いをした上で決定するというようなイメージでよろしく願いいたします。

続けて、この地図に記載できる耕作者というところなんですけれども、こちら、次のページに入ってください。最後のページです。

地域計画記載例とあるんですけれども、4番、地域内の農業を担う者一覧というところで、地域計画の策定自体は地図作成と、こういう書類のようなものに落とし込んで、セットで提

出すというのが最終ゴールになるんですけれども、これが一部抜粋したところになります。この地域内の農業を担う者一覧というところでお名前が書いてあって、誰が何平米やって、作物が何かという、それを現状こうだけれども、右に10年後こうなるというふうな図になるんですけれども、基本的に、担う者といいますけれども、地域計画の担い手という言葉になるんですが、耕作者、イコール担い手ではなくて、地域計画における担い手というのは、効率的、かつ安定的な経営を営む者という者になります。これを具体的に申し上げますと、八潮市にとっては認定農業者の方になりますので、やっぱり地域計画策定するに当たって誰がやるのかと。最終的には認定農業者にお任せするというようなことをお願いする必要になってきます。なので、認定農業者は誰なのかという話はやはり先ほど話した農業者会議で、誰が認定農業者で、誰が認定農業者じゃないとかという、個人情報になってきますので、なかなか出せないということもありますので、皆さん、農業委員会の皆様のお力を貸していただくというような形になります。

これは、とはいっても、認定農業者の現状の情報ですけれども、認定農業者、イコール、地域計画の担い手になるかというのはもちろん個々人のご判断になりますので、お話の中で、地域計画はじゃ、誰々さんがやるよと。やったほうがいいんじゃないかとなった場合に、こちらに載せるに当たっては、個人個人しっかりと確認を地域計画でこういう形で策定になって、担い手になっていただけますでしょうかというような個人ごと、同意と確認が必要になりますので、我々事務局も含めてしっかりやっていますので、ご理解だけよろしく願いいたします。

最終的にはこれで地域計画は完成になるんですけれども、この担い手の一覧に載った方に関しては、一つとして、補助金なんかもございますので、そういう部分のメリットもあるのかなというような情報だけ添えさせていただきます。

地域計画に関しては以上になります。

○都市農業課係長 少し補足させていただきます。

最後の将来目標地図なんですけれども、ばらばらの農地が集約されて、ある程度集約されるというのがそれが目標としてはそういう形なんですけど、現況としましては、とにかく来年3月までに、目標としては、今のそうした認定農業者が既に耕作されている畑がございますので、そこは担い手である認定農業者が耕作をする農地なので、そこは間違いなく将来目標図のエリアと定めて、プラスアルファで、もし、新規の貸し借りが確実にできれば、将来目標図に入れていただければということでのお話になりますので、よろしく願いいたします。

○議長 ありがとうございます。

ただいま担当からご説明がございましたが、中川周辺地区の地域計画につきましては、何かご質問、ご意見等がございましたら、挙手にて自分の議席番号、氏名を述べてからお願い

をいたします。

ございませんか。今後、中川周辺地区は、これからの八潮の農業の生命線でございます。ここに八潮の農業の未来がかかっています。よろしいですか。

—— 委員より意見なし ——

○議長 質問がなければ、それでは、ありがとうございました。

ただいま中川周辺地区の地域計画につきまして説明がございましたが、今後もまた農業委員会が関わっていくこととなりますので、委員の皆様におかれましては、今後のご協力についてよろしくお願いをいたします。

都市農業課の職員の皆様、ご苦労さまでございました。ありがとうございました。

○都市農業課 都度、何かご質問ございましたら、お電話でも結構ですので、よろしくお願います。

○議長 次に、事務局より連絡事項が2点ございます。

1点目は、農作物の盗難防止対策につきまして、よろしくお願いたします。

○事務局 農作物の盗難防止対策についてご説明をいたします。

お手元の資料7をご覧ください。

おととい付で、埼玉県からご覧の資料が参りまして、実際届いたのは昨日の夕方だったんですけれども、ちょっとこの時期、特に農作物の盗難被害が多いので、埼玉県のほうで埼玉県警、またJAグループさいたまと協力しまして、こういったようなチラシをつくりましたので、農業者さんに対する注意喚起にご協力をいただきたいですということで受け取りました。

それに併せまして、最近、中川提外農地におきまして、盗難被害に遭われた方から防犯カメラの画像を見たいという相談を受けました。防犯カメラの管理をしている担当課が市の中にございまして、そちらの担当課に確認をいたしましたが、その運用について説明をして、結論から申し上げますと、この盗難被害に遭ったというケースでは、今現在、市の組織としての都市農業課や農業委員会から防犯カメラを管理している担当課、交通防犯課というところなんですけど、こちらに対してデータの提供を依頼しても開示はしていただけません。防犯カメラの運用に関して、交通防犯課は八潮市の規則に基づいて運用しているためです、特別扱いはできませんというふうに言われてしまいました。

被害者を含めてなんですけれども、もちろん私たちもなんですけど、記録内容は見せてはもらえません。ただし、例えば、被害を受けられた方が警察に対して被害届を出すというような形で、間に警察を挟んで、警察が捜査の一環として内容が必要になってくるので、警察が市に対してその記録されている映像を提供してくださいというふうな依頼が来ますので、それは警察に出す。警察が公正に捜査をしていきますよという報告を聞いております。

それは交通防犯課が管理しているカメラの話なんですけれども、園芸協会ですとか、青耕会で令和4年から防犯カメラの貸与を行っております。カメラや記録はご自身で管理することになるんですが、撮影内容をご自身でご自由に見ることができます。

あと、農作物の盗難被害、生じないのが一番なので、盗難防止のため、今年度も週ごとに課の中で担当を決めて、中川周辺地区の農地において、車でパトロールは行っております。パトロールが定期的ですと、大体何時ぐらいにあの人たち来るんだよねということで警戒されてしまうので、時間は定めず、曜日も定めずですが、不定期に行っているんですが、一応、目安としては、人けのないような時間帯、ちょっと役所なので、早朝の時間帯はやっていないんですけれども、大体5時過ぎから暗くなる前ぐらいまでが行っているようなところがあります。

私どもとしても、そういったような対策を行っておりますので、丹精込めて作った農作物ですので、盗難防止対策について、該当する農業団体の会員の会員様から防犯カメラについてご相談をいただければ、今、在庫がないそうなんですけれども、また、改めて対応していくということもありますので、よろしく願いいたします。

以上でございます。

○議長 ありがとうございます。

ただいま農作物の盗難防止対策につきまして説明がございましたが、何かご質問、ご意見等がございましたら、挙手にて、自分の議席番号、氏名を述べてからお願いいたします。

鈴木委員。

○8番（鈴木 隆委員） 8番、鈴木です。

今、事務局からお話があったんですけれども、さっき、農業委員会始まる前に、ある方から電話をいただきまして、役所のほう、交通防犯課に電話したら、見せてくれないと。警察にも電話して、警察に言ったら、それは私たち盗まれましたと、枝豆が盗まれたらしいんですけれども、被害届を出さなくても、それは見ても結構ですと言われたらしいんですよ。だと思ったな。だから、もしも交通防犯課で見せてくれないのであれば、農業委員会から担当課へ意見を言ってもらって、それをどうにかならないんですか。

○事務局 ただいまのご意見、質問についてなんですが、私たちもその方からお話があった際に。

○8番（鈴木 隆委員） 同じ人だと思うんですけども。

○事務局 私たち職員としても、そういったような被害が生じないように活動はしていきたいですし、何かあったときには協力したいという思いはあります。ただ、やはり市職員として、市の規則で定められていること以上を行うことはなかなか難しい中で、今、鈴木委員さんからおっしゃられたような農業委員会の中でこういった意見がありましたよといったようなこ

とはもちろん伝えることは可能ですので、農業委員会の中で、農業者さんからそういったような要望がありましたといったような意見を出そうと思います。

以上です。

○8番（鈴木 隆委員） それは例えば、交通防犯課でそれを見て、どうにかしようとしているんですか。その交通防犯課のほうで。ただカメラをつけました。何もしません。俺たち忙しいからできないよと言っているようなものなので、それはちょっとどうにかしてほしいなというところはあるんです。それか、そのものを見せてくださいと。

○事務局 防犯カメラの画像の取扱いがとてもデリケートなものだというのは、市の職員が見て、この人が犯人だろうというふうに決めつけてしまうということの危険性があります。結局市の職員なので、逮捕権がありません。人間なので、先入観で見えてしまうかもしれない。その辺の訓練を受けていませんので。市で被害があった際も警察にかなり本格的に捜査をお願いして、特定をして、被害について求めたというのがあった中で、取扱いがかなり大変だったようで、防犯カメラの取扱いについては市で一本化されたというふうな経緯がありました。

おっしゃるとおり、設置している担当課がカメラの内容を監視して、判断をしていくというのがもしかしたら一番単純なんですけど、前段でお話ししたとおり、我らは訓練を受けてもいない素人ですので、思い込みなどで犯人だと決めつけることがあった場合に取り返しのつかないことになる。

○8番（鈴木 隆委員） それこそ物を取っているところが映っていれば別ですけども。

○事務局 そうです。そうなんです。

○8番（鈴木 隆委員） 例えば、それを袋に入れて、こうやって歩いていたら分からないですからね。

○事務局 まさにタマネギを抜いているおじさんがいたりすれば、そのおじさんが絶対犯人なんですけれども、例えばただ、見覚えのないトラックが出入りしている時に窃盗被害があったとすると、このトラックが入っていった。このトラックはというふうに思いたくなくなってしまふ心理もありますので、先入観がなく、前後のつながりだとかをやはりプロの目、警察の目で見ただけなのが、その先の公正な捜査につなげるためには正しかろうということで運用しているところがありますので、お気持ちはよく分かるんですけども、ちょっとなかなか期待に100%沿うことはできないので、ただ、そういったようなお話がありましたよということでは伝えていきます。

○8番（鈴木 隆委員） そこはプロフェッショナルにお任せするということで。

○事務局 やはり間違いがあった場合のダメージが大きい。

○8番（鈴木 隆委員） 人権を損害したとか、そういうことになっちゃう。

- 事務局 そうですね。今の時代。
- 8番（鈴木 隆委員） 分かりました。
- 事務局 すみません。
- 8番（鈴木 隆委員） ありがとうございます。
- 議長 よろしいですか。
- 8番（鈴木 隆委員） 難しいところですよ。それこそ100万円のを盗まれちゃったとか、そういうんじゃないんで、それこそ何千円の世界なんで。
- ただ、盗まれた人が、その気持ちが。なるほどなと思いますけれども。
- うちもやられたことがある。みんなやられているんだよ。
- 6番（飯山敏行委員） でも、特に中川河川の一部はかなり頻繁だというのはうちのほうにも耳に入ってきます。
- 議長 盗難というのは昔からあるので。
- 8番（鈴木 隆委員） いい物を作っているから。
- 6番（飯山敏行委員） 個人で消費するレベルでは取られる量が多い。個人で消費するレベルではないと。ちょっと商売ではないですけれども、何かそっちみたいです、話を聞くと。
- 議長 地方の果樹のサクランボとかの産地はもう地域全体でもって闘おうとしている。
- 8番（鈴木 隆委員） ありがとうございます。
- 議長 我々は、みんなで目を光らせて見るしかないんですよ。下手に動いちゃうと危険があるから、その辺も考えながら行動しないといけない。
- 8番（鈴木 隆委員） 見つけるとか、捕まえるとかそういうのではなくて、考え方を違うふうにして持って行って、防犯のほうに。
- 議長 ほかにございますか。よろしいですか。
- 委員より意見なし ————
- 議長 それでは、最後になりますが、次回の日程について、事務局より説明をお願いいたします。
- 事務局 次回の開催日程につきましては、令和6年8月23日金曜日、午後2時より、こちら、同じですが、市役所3階の3-4会議室です。よろしく申し上げます。
- 以上です。
- 議長 ありがとうございます。
- ただいま事務局より8月の総会についてご案内ございました。
- それでは、最後に、皆様から全体を通して何かございましたらお願いをいたします。
- 委員より意見なし ————
- 議長 ないようでございますので、これで議長の席を下ろさせていただきたいと思っております。

皆様ご協力、ありがとうございました。

◎閉会の宣告

○事務局長 小早川会長、議事の進行、大変お疲れさまでした。

また、委員の皆様には慎重審議をしていただき、誠にありがとうございました。

それでは、閉会の言葉を鈴木新一会長職務代理よりお願いいたします。

○会長代理（鈴木新一委員） 皆さんもご存じのように、ここ二、三日で雷雨とか、突風とかありまして、一部地域で停電とか、それから、ちょっと私もパトロールしたんですけれども、ハウスのシートが飛ばされていて、それから、野菜が横倒しになっていたり。なかなかそれを予防するというのは難しいようなんですけれども、農業委員さん、相談に乗っていただきたいと思います。

それから、これから35度の猛暑日が8月上旬頃まで続くということですので、くどいですが、暑さ対策、それから、また、集中力が鈍りますので、事故のないように、市民の方にお話ししていただければと思います。

それで、以上をもちまして、本日の総会を閉会とさせていただきます。

ありがとうございました。

○事務局長 これにて散会といたします。大変お疲れさまでした。

閉会 午後3時15分